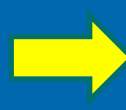


コーディネーターの役割

個別支援：当事者と支援者をつなぐ
支援者と支援者をつなぐ



個別支援事例の積み重ね

各機関の役割や活動
の情報提供

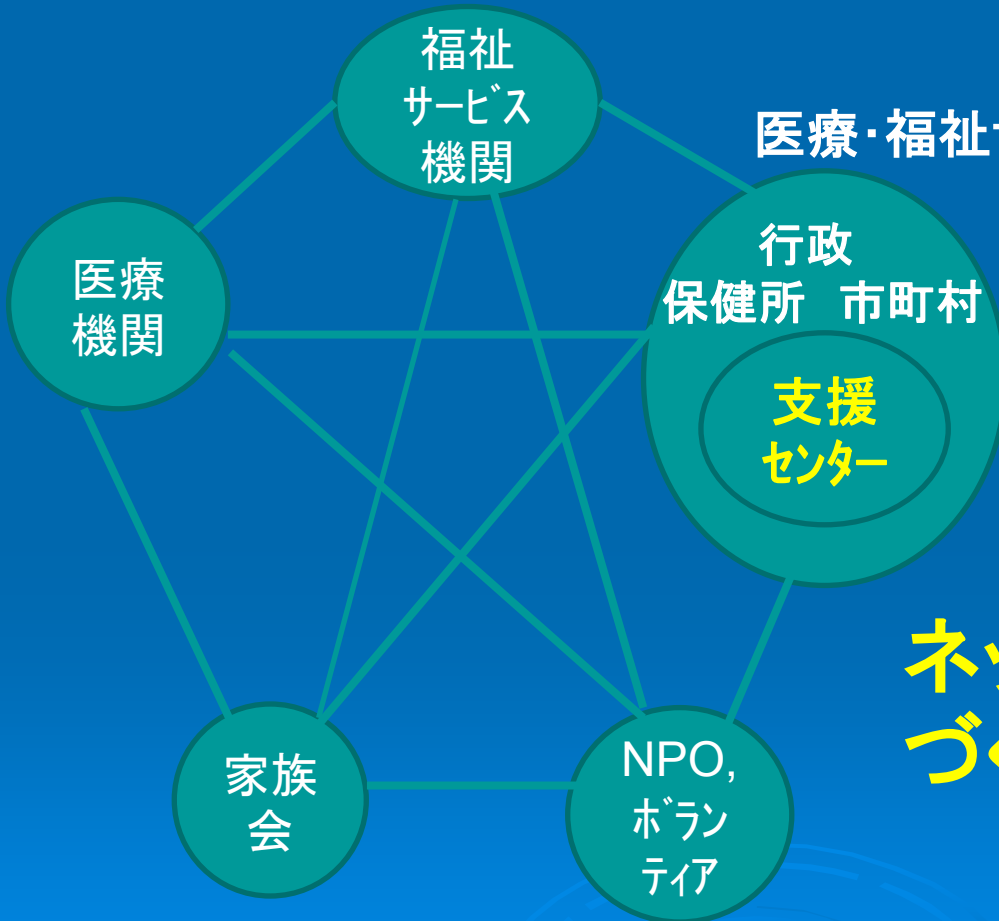


医療・福祉サービス機関等のコミュニケーションのUp



医療と福祉、行政等と
の連携強化
事例検討会
ネットワーク連絡会

ネットワーク体制
づくりと強化



支援拠点病院(1)・支援協力病院(23)へのアンケート結果から

①支援の際、連携をとった関係機関

他医療機関	71%
介護保険関連事業所	67%
行政機関(保健所, 市町村等)	54%
高次脳機能障害者支援センター	42%
障害者施設	38%
障害者相談支援事業所	25%

②支援の際、困ったこと

本人が障害を理解していない	83%
家族が障害を理解していない	58%
地域への連携がうまく いかない	46%
退院後の支援先が わからない	42%

③高次脳機能障害者の支援課題だと思ふこと

支援機関, 地域の受け皿等社会資源の充実	71%
医療機関, 福祉サービス機関, 行政等の連携	58%
就労支援	50%
研修などによる障害理解, 普及啓発	25%
家族支援	25%

相談支援事業所へのアンケート結果から

※県内の相談支援事業所(99カ所)に実施し、65カ所から回答(65%)

①高次脳機能障害への対応

対応している	43%
今後対応する予定	35%
対応が困難	22%

②支援した内容(予定含む)

障害福祉サービス利用についての情報提供, 助言	60%
生活全般についての相談	37%
障害者手帳や福祉サービスなどの申請補助	35%
支援プランの作成	31%
仕事, 職業に関する相談, 情報提供	25%
対人関係等自立生活全般に必要な精神的サポート	25%

③課題だと思うこと

支援機関, 地域の受け皿等社会資源の充実	75%
研修などによる障害理解, 普及啓発	63%
医療機関, 福祉サービス機関, 行政等との連携	62%
研修等による支援方法の向上	52%
マンパワーの充実	38%
就労支援サービス	23%

高次脳機能障害者の支援課題

(現状)

- ・支援拠点病院・協力病院において、
関係機関との連携は、「他の医療機関」「介護保険事業所」が7割
に対し、「相談支援事業所」「障害者施設」は3割と少ない。
また、7割が「支援機関、地域の受け皿等社会資源の充実」を課題
と感じているが、実際は「地域の支援機関がわからない」
「地域の支援機関との連携がうまくいかない」と答えた医療機関が
半数あった。
- ・相談支援事業所においては
現在、高次脳機能障害者に対応しているのは約4割であった。
現在実施または予定している支援内容については、
「障害福祉サービス利用についての情報提供、助言」が主で、
「プラン作成」に取り組むと答えた事業所は約3割であった。

まとめ：今後の取り組み

- ① 高次脳機能障害者に対応可能な支援拠点病院・協力病院を含む医療機関情報の提供
- ② 高次脳機能障害者の地域支援機関として、県内の「相談支援事業所（支援内容を含む）」の情報収集と情報提供
- ③ 支援拠点病院・協力病院と地域支援機関（行政機関，相談支援事業所，障害者職業センター等）のネットワーク強化のための研修，会議の開催



※ 医療機関と相談支援事業所等の連携を強化し，相談支援事業所との積極的関わりを促す。

「移動支援」「行動援護」を含む障害者自立支援サービスの活用機会を増やすことで，高次脳機能障害者の地域生活支援の充実に図る